

Let's talk about our

かけ橋 木 プログラム

@ヨコハマ

みんなで一緒にかけ橋カリキュラムを
デザインしましょう



かけ橋期の2年間は、
生涯にわたる学びや生活の基盤をつくる重要な時期です。

未来に向かって子ども一人ひとりが
生き生きと生活し学ぶことができるよう、
この時期の子どもの育ちや学びについて
みんなで一緒に考えていきませんか？

一本の縄からつながる 遊びの世界

子どもたちが扱やすい、色、数、長さの縄や紐で遊べる環境づくりをしたら、「やってみよう！」があふれだし、遊びを工夫する姿が広がった!



縄をつないで、持ち上げて... 忍者の綱渡りだよ!



話し合っでルールや遊びを考えて、自分たちで遊びをつくり出す!



子どものやってみよう遊びへの挑戦と、安全に遊ぶこと両方を支える見守りはとっても大事!



子どもの遊びは大人が考えるより面白い!

子どもたちの遊びを、危ないからと止めてしまうのではなく、その後どうやって探究していくのかをきちんと見極めながら見守ることで、子どもたちの遊びが広がっていったのが素晴らしいです。小学校の体育にもつながる素敵な事例ですね。

子どもの育ちが つながる

学びの芽生え

さあ、今日は楽しいカードをつくろう。



登園した子どもを迎える空間は、子どものわくわくした思いをかなえる環境に

ドールハウスをつくろう。ハシも上手に使えます。



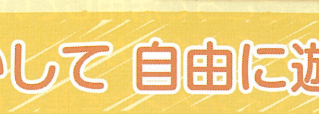
回轉寿司だよ いらっしやい 電車に乗ってお寿司が回るよ。



たいこの達人修行中!



たいこも 手作りだよ。



子どもをしっかりと見て、子どもが始めることには必ずおもしろいことがある、それを一緒によろこび、味わっている保育・教育の営みがあると感じました。

大きなイベントではなく、小さな機会でもよいので、こんな子どもの姿と一緒に味わえるような小学校との連携が増えていくといいですね。

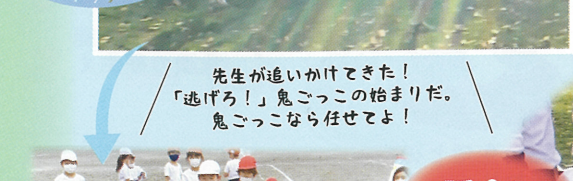
小学校教諭が 参観 「すごい! おいしそうなおすだね!!」



環境を生かして自由に遊びを創り出す

夢中で楽しむ 「鬼遊び」を通して

知っている鬼遊びで 安心なスタート



先生が追いかけてきた! 「逃げろ!」鬼ごっこの始まりだ。鬼ごっこなら任せよう!

「右行くようにして左に行く」「だま作戦」だよ 「それいいね~」

遊び方の工夫を重ねて、自分たちで もっと楽しむ

誰もが知っている「鬼遊び」だからその導入の工夫。もっと楽しくなるルールや作戦をみんなで共有。そしてトラブルを話し合いで解決。園での遊びや話し合いの経験が学習に生かされています。

子どもの「やったことある!」という自信を、「もっとやってみよう!」「どうしたらよいだらう」という自立心、探究心の発揮につなげているところがいいですね。生活科で色水遊びを扱う前に、担任が近隣保育園の保育士に園での経験を聞くなど、立場や施設の違いを超えて話し合える関係ができていくことが生かされています。

図工の色水遊びからの スタート

重ねると色が 変わるよ。

保育園では、色水あそびをするとき、どんな材料を使っていますか?

朝顔や オシロイバナ、絵の具、食紅も使います。

逃げる範囲を決めたらどうかな。 そうだ、ラインを引こう。



話し合い

みんなが楽しめるように 子ども同士で話し合います。

「いっばいとるぞ~!」「あ~!」「チームワークも最高です!」

色が目ざるところがすてき! みんなに見せてあげたいな。

生活科にも 広がった!

ゆっくり色が広がる場所を 見せたいな! 動画で見せる? 油を入れる?

試行錯誤

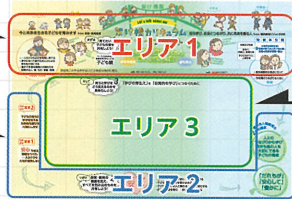
洗濯糊を使って、大成功!

めざせ色水マスター! わくどきけんきゅうじよ



右のデザインシートを使って「架け橋カリキュラム」を考えてみましょう！

- 1 まずは、「育てたい子どもの姿」の共有です。ワークシートの「エリア1」を読んでみましょう。
- 2 次に、「すべてを包み込むもの」の共有です。ワークシートの「エリア2」を読んでみましょう。



- 3 そしていよいよ「エリア3」を使ってグループワークをしてみましょう。

話題「夢中」

- 問1 最近見た子どもの姿から、「何かに夢中になっているな」と思った場面はありますか？
- 問2 そのような子どもの姿は、どのような環境や援助によって見られたのだと思いますか？
- 問3 夢中になれる姿がより多く見られるようにするために、次にどんなことをしたらよいでしょうか？

グループワークのやり方を 話題「夢中」を使って紹介します。

ワークの進め方

- ①【問1】から、思い浮かんだ場面を付箋にひとこと(1つか2つに絞り、短く書くのがおすすめです)書きましょう。
- ②付箋をワークシートに貼りながら、「ひとこと」から広がるエピソードをお互いに話したり聞いたりしましょう。メモを書き込んでもいいですね。
- ③それぞれのエピソードについて、共通点を見付けたり内容を深めたりするために、【問2】について考え、付箋やメモを書き足したりつなげたりしてみましょう。
- ④さらに、【問3】について話し合い、共有したことをキーワードにまとめてみましょう。これで、参加者みなさんのアイデアで作ったわたしたちの「架け橋カリキュラム」が一つできました。



さあ、話題を一つ選んで、ワークに取り組んでみましょう！

話題「困り感」

- 問1 「この子が困っているように思えるけれど、どう関わってよいかわからない」ことはありますか？
- 問2 そんな時、園や学校ではそれぞれどうしていますか？
- 問3 子どもが困っている時の援助や、環境構成等、どんな工夫が考えられるでしょうか？

話題「交流」

- 問1 最近の子ども同士の幼保小交流活動で、子どもはどんなことをしていましたか？
- 問2 交流をしながら、子どもはどんな様子でしたか？
- 問3 さらに充実した交流とするために、次はどんなことに取り組んでみたいですか？

話題「接続期カリ」

- 問1 アプローチカリキュラム、スタートカリキュラムで悩んでいることは何ですか？
- 問2 お互いの悩みにヒントを伝え合うとしたらどんなことですか？
- 問3 もらったヒントは、年間の保育・教育のどんなところに生かせそうですか？

話題「主体性」

- 問1 「子ども主体の活動がなかなかうまくいかない」と感じていることはありませんか？
- 問2 逆に、子ども主体で取り組めたのは、どんな時ですか？
- 問3 子ども主体の活動を実現するために大切なことは何でしょうか？

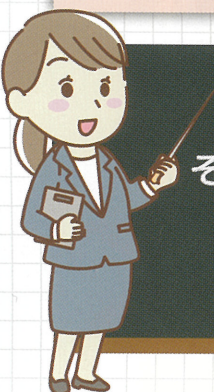
話題「特別な配慮」

- 問1 日本語や日本の生活に不自由を感じている子どもがいませんか？
- 問2 その子が安心して楽しく生活できるようにするために、工夫したことはありますか？
- 問3 今後も切れ目のない支援をするために、園・学校・保護者・地域で協力できることはありませんか？

ほかにも自分たちに合った「話題」を考えてみるといいですね。



架け橋期に育てたい子どもの姿や、育みたい力を考えて作った「架け橋カリキュラム」をそれぞれの園や学校の明日からの活動、これからの計画立案、保護者への発信等、いろいろなところで活用していきましょう。そして振り返りを大切にし、「架け橋カリキュラム」を工夫・改善しながらカリキュラム・マネジメントを進めていきましょう。



あるぽかぽかな日の
砂場あそびから...

あの子の「すてき」
「10の姿」をつかって語ってみませんか。

1 健康な心と体
よしよ、よしよ

2 自立心
やっとできた!

3 協同性
こっちからほっていきよ

4 道徳性・規範意識の芽生え
まにあうように、かたづけよう
エコだね

5 社会生活との関わり
おみずをもってきてくれてありがとう。たいせつにつかおう

6 思考力の芽生え
ほんと?
あ! こっちのすなはかたまりやすいよ

7 自然との関わり・生命尊重
地面で、あったかいな
みずたまりにとんぼがきた! とんぼもみずがすきなのかな?

8 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
1, 2, 3, 4, 5... 10こ。みんなにあげるには、まだ足りないかな

9 言葉による伝え合い
おだんご、なんこできました?
せんせい! みてみて。びかびかのおだんごできたよあげる
がんばってつくったんだよ
上手だね。どうやってつくったの

10 豊かな感性と表現
おだんごダンス、おどろう!
♪つるつるすべすべおだんご♪

By Yokohama city
「架け橋カリキュラム」を考える上で、
参考になる横浜市発行の冊子

横浜教育ビジョン2030

横浜教育ビジョン2030
横浜の教育が目指す人づくり、横浜の教育が育む力、横浜の教育の方向性を示しています。

第4期 横浜市教育振興基本計画
「横浜教育ビジョン2030」のアクションプランであり、一人ひとりの成長に焦点をあてた教育政策を展開します。

育ちと学びをつなぐ
乳幼児期の教育から小学校以降の教育への円滑な接続を図るため、平成24年に横浜市で策定した「横浜版接続期カリキュラム」の、平成29年度改訂版です。

子どもの社会的スキル横浜プログラム
子どもの社会的スキルの育成や学級や集団に温かな風土を醸成することを目標としたアプローチのための資料です。

よこはま☆保育・教育宣言
横浜の保育・教育施設のすべての職員が、乳幼児期の子どもに対して何を大切に
して日々関わるかの基本となる

第2期 横浜市子ども・子育て支援事業計画
生まれる前から青少年期に至るまで、子どもや子育て家庭を切れ目なく支援するための子ども・青少年施策の基本計画です。

横浜市立学校カリキュラム・マネジメント要領 総則・総則解説
「社会に開かれた横浜らしい教育課程」を編成・実施・評価・改善するためのよりどころです。

人権教育の充実に向けて
人権教育の充実に向けた取組等を示したものです。毎年更新されます。

横浜版接続期カリキュラム実践事例集 第8集
主体的・対話的で深い学びのある保育・教育を通して「今」と「未来」をつなぐ資質・能力を培って
いこうとする、示唆に富んだ幼保小の事例が紹介されています。

乳児

幼児

架け橋期

小学生

中学生～

Let's talk about our

今と未来を生きる子どもを育みます from 保育・教育宣言

架け橋カリキュラム デザインシート

自ら学び、社会とつながり、共に未来を創る人 from 横浜教育ビジョン2030

知 徳 体 公 開



- ▶一人ひとりのよさを発見し育てる
- ▶夢中になって遊び込むことによる育ちを大切に
- ▶豊かで多様な環境との関わりを保障する人・場・もの・事象・時間

幼稚園・保育園

まずは **1** 育てたい子どもの姿を共有しよう!

ベースとなるのは、有能な学び手としての **子ども観**

やりたいことあるよ
もっともっとやりたいな
やってみよう!!

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

非認知能力 認知能力



どうすればかいつできるんだろう?
ほかのひとはどうかんがえているんだろう?

知識及び技能	〈中期学校経営計画〉 9 年間で育てたい子どもの姿、 育成を目指す資質・能力
思考力、判断力、表現力等	
学びに向かう力、人間性等	



- ▶教科横断的な視点に立って
- ▶多様性をふまえて
- ▶学校間のつながりを大切に

学校

未知なことや分からないことを自分なりに考え、自分自身で納得するまで**探求**し続ける遊びや体験

→ 問いをもち、問い続ける

→ **探究的な学び**

そして **3** 育ちと学びをどう支えるのかを具体化しよう!

「学びの芽生え」を「自覚的な学び」につなぐために

保育宣言2
子どもの育ちと学びを支える主体的な遊びを大切にします

保育宣言1
安心できる環境をつくり、一人ひとりを大切に保育します

つぎに **2** 保育・教育の根底を支え、すべてを包み込むものを共有しよう!

キーワードは **安心**

- ・安心感、信頼感を大切に、子どもを見守る
- ・子ども一人ひとりを受け止める
- ・子どもが様々な人と関わることを大切にする
- ・自己有用感を育む ・多様性を尊重する

横浜市人権教育の2つの理念

人とのつながりから学び
自分も他の人も大切にできる
子どもの育成

「だれもが」
「安心して」
「豊かに」

「幼保小の連携・接続に関する調査 2022」から

Q 令和4年度から「幼保小の架け橋プログラム」が始まったことを知っていましたか？



58%



半分以上の園や学校で知られています。
100%を目指し、園や学校内でも話題にいきましょう。

「幼保小の架け橋プログラム」は 令和4年度から始まった文部科学省の事業です。

5歳児から小学校1年生の2年間を「架け橋期」とし、
子どもに関わる大人が
立場の違いを越えて
連携・協働し

「架け橋期」にふさわしい
主体的・対話的で
深い学びの実現を図り

多様性に配慮した上で、
全ての子どもに
学びや生活の基盤を
育むことを目指します。

大人同士が連携・協働している園や学校は約 **50%**です。

コロナ禍でも約半数が取り組みました！



「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を
理解共有するための研修会を行った **園**

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を
理解共有するための研修会を行った **学校**

R3年度調査

6% ▶▶▶ **22%**

R4年度調査

R3年度調査

9% ▶▶▶ **22%**

R4年度調査

どちらも大きく増えています！

「第4期教育振興基本計画」では令和7年度までに小学校全校での実施を目指しています。

お互いのカリキュラムを共有し合う

研修会を行った園 **8%**

お互いのカリキュラムを共有し合う

研修会を行った学校 **11%**

このリーフレットを活用することが、大人同士が連携・協働する機会につながります